

2007 年度 IJCA World Council Meeting 報告

- 開催地: Fraglia Vela Riva(イタリア トレント県 リヴァ・デル・ガルダ)
- 開催日: 2007 年 10 月 6 日 9:00~18:00
- 報告者: 畠山 知己
- 通訳: 鈴木 祥子
- 題目:

1. [参加者](#)

2. [役員の交代・新役員選出](#)

3. [IJCAより](#)

- (1) [事務局報告](#)
- (2) [財務報告](#)
- (3) [テクニカル委員会報告とルール改正](#)
- (4) [ビルダー報告](#)
- (5) [マーケティング & プロモーション報告](#)

4. [世界選手権・大陸選手権についての報告](#)

- (1) 2009年J/24 [北米選手権](#)
- (2) 2010年J/24 [世界選手権](#)
- (3) 2011年J/24 [世界選手権南米](#)
- (4) 2008年J/24 [世界選手権イタリア](#)

5. [その他](#)

- (1) [計測料金について](#)
- (2) [将来の展望](#)
- (3) [アクションプランの更新](#)
- (4) [次回WCMの開催日・開催地](#)

1. 参加者 (カッコ内は投票権数 合計 26 票)

Bob Turner - 議長

Jim Farmer - 副議長

Roger Harden - 財務委員長

Eric Faust - 事務局長 兼書記
Lorne Chapman - テクニカル委員長 兼カナダ代表(1)
Nancy Zangerle - アメリカ代表 (5)
Remco van den Berg - IJCA実行委員 兼オランダ代表(1)
Tasos Nikolau - ギリシャ代表(1)
Roberto Authier - アルゼンチン代表(1)
Robin Eagleson - アイルランド代表(1)
Marianne Scholke - スウェーデン代表 兼ドイツ・デンマーク代理(3)
Tomomi Hatakeyama - 日本代表(2)
Stuart Jardine - イギリス代表 兼バミューダ代理(2)
Alister Morison - オーストラリア代表(1)
Tamas Madarasz - ハンガリー代表(1)
Eros Angeli - イタリア代表(2)
Jorge Castillo - メキシコ代表 兼スペイン・チリ・コロンビア代理(4)

その他

Kenneth Porter - テクニカル委員
Sachiko Suzuki - 日本代表通訳
Paulo Boido - J-ボートイタリア
Gabor Csernussi - ハンガリー協会
Massimo Mariotti - イタリア協会
Anna Sargenti - イタリア協会
Gianpietro Pollesel - イタリア協会兼テクニカル委員

[題目へ戻る](#)

2. 役員の交代・新役員選出

J Farmerのリードにより多数決が行われた。
投票結果は次の通り(カッコ内は任期)。

実行委員会 (Executive Committee)

Bob Turner (GBR) - 議長

Jim Farmer (USA) – 副議長
Eric Faust (USA) – 事務局
Roger Harden (USA) – 財務委員
Lorne Chapman (CAN) – テクニカル委員
Remco Van de Berg (NED) – 実行委員(1年)
Alister Morison (AUS-JCA) – 実行委員(1年)
Massimo Mariotti (ITA-JCA) – 次年度世界選手権開催地役員(1年)

マーケティング／プロモーション委員長(Marketing and Promotion Committee)

Nancy Zangerle (USA) – マーケティング／プロモーション委員長

テクニカル委員会(Technical Committee)

Lorne Chapman (CAN) – 委員長(2006～)
Stuart Jardine (GBR) – 2002～
Günther Müller (BRA) – 2005～
John Peck (USA) – 2005～
Gianpietro Pollesel (ITA) – 2005～
Kenneth Porter (MEX) – 2005～
Reid Stava (USA) – 2005～
Alyn Stevenson (AUS) – 2005～
Tim Winger (USA) 2006～

John Peck (USA) – 元テクニカル委員長(2005年まで)
Lorne Chapman (CAN) – 新テクニカル委員長(2006年より)
Nils Jannichsen (NED) – テクニカル委員 2005～
Stuart Jardine (GBR) – テクニカル委員 2002～
Hank Killion (USA) – デザイナー推薦テクニカル委員 2002～
Gunther Muller (BRA) – テクニカル委員 2005～
Kenneth Porter (MEX) – テクニカル委員 2002～
Reid Stava (USA) – テクニカル委員 1993～
Tim Winger (USA) – 新テクニカル委員
Alyn Stevenson (AUS) – アドバイザー

[題目へ戻る](#)

3. IJCA より

(1) 事務局報告

- 2007年の会員数は合計2750と安定。
- USA-JCAと業務提携し間接経費を共同負担していることが功を奏している。
- 2006年のイヤーブックは発行済み。2007年のイヤーブックに向け情報を募集中。
- ルールブックも発行され各国に配布されている。
- ルールブックの発行にあたっては、新任ウェブマスター、Scott Waterhouseへ情報を送ること。
- キール計測テンプレートは完成しており、注文を受けた各国には随時送付される予定。
- 計測証明書は事務局内にて作成済み。印刷可能なPDF形式でオーナーに送付される。

[題目へ戻る](#)

(2) 財務報告

- 安定した会員数により収入も安定している。
- 二大収入源は会費とセールロヤリティであるが、セールロヤリティは前年度より20%減少した。これは予想外の傾向である。しかしながら、IJCA口座には予定外の損失があってもクラス運営に十分な預金がある。
- 数年前の事務局移転により発生したIRS(米国国税庁)への課徴金2件を減免することに成功。残る1件の約 USD 4,000についても、いずれ減免できる予定。

- IJCAからNJCAへの資料送付については、現状では全てIJCAの負担となっているが、郵送料の上昇をうけ、2008年以降会費をUSD13からUSD15に値上げすることを提案する。
(R Hardinの提案 — 多数決により可決となった)
- 欧州圏内の数力国では、IJCAロヤリティタグに加え、ナショナルロヤリティタグも必須となっている。これについては、S Jardineが主導となりナショナルロヤリティタグは不用とする方向でISAFと協議する。

[題目へ戻る](#)

(3) テクニカル委員会報告とルール改正

- ルール改正については、[こちら](#) を参照願います。
(クラスルール 改正報告 2007 (2007年 10月))
- レガッタ規則の改訂はほぼ完了し、ITCは現存する問題点に主眼を置けることになった。各国での計測が有効に行われることに尽力したい。
- キールとラダーの計測テンプレートは完成している。次の課題はJ/24規則がISAF基準に基づいたものになるよう修正することである。
- セール計測テンプレートの制作も行われ、増産の可能性について検討中。

[題目へ戻る](#)

(4) ビルダー報告

- Jボート・アルゼンチン社のビルダーR Authierからの報告は次の通り：
 - Jボート・アルゼンチン社は昨年、チリ、ブラジル、アルゼンチンに向け新艇を10～12艇建造したが、使用しているモールドは20年も前のもので、将来的に交換する必要がある。しかしそのための出費は大きい。

- J/24の長所であり特徴であるワンデザインの基準を保持することは極めて重要であり、各ビルダー間で異なるモールドが使用されていることは懸念すべき。Jボート・アルゼンチン社建造の艇がルールに基づくものであることをIJCAに確認して欲しい。
- 上記を求めると同時に、ITCへの協力は惜しまない。
- Jボート・イタリア社のビルダーP Boidからの報告は次の通り:
 - イタリア国内のマーケット縮小に伴い、J/24の生産は減少しており、2008年世界選手権に向けての新艇注文件数は1件だけであった。P Boidは他国での市場確立に尽力している。
 - J/24は生産コストの高い艇種である。各ビルダーが建造した艇の間に際立った違いは見られない。
 - 協会内に1名、各ビルダーに統一した方針を示すテクニカル担当者がいればよいのでは。
 - 細かい数値的な違いを気にするよりは、ワンデザインで世界中のセイラーがレースを楽しめる魅力的な艇種であることを主眼に置き、クラスルールが簡易化されることを望む。それがマーケティングの成功にもつながるのではないか。
- 上記に関し、S JardineがJ/24の特に内装の近代化が必要であることを指摘。
- L Chapmanは、エグゼクティブコミッティがビルダーの仕様やJ/24の著作権取得を含むクラスマネジメントに関して排他的に発言権を持つことを提案し、可決された。

[題目へ戻る](#)

(5) マーケティング & プロモーション報告

- J/24ロゴの使用権に関する合意は完了しており、その書類はN Zangerleの手元

にある。

- 2006年のイヤーズブック作成は困難ではあったが良いものが出来ている。2007年のイヤーズブックへの情報提供締切は大幅に前倒しにする予定で、具体的には近々通知される予定。
- 昨年可決されたポスター作成は実施されなかった。
- オンラインでIJCA会員のプロフィールを収集できるシステムを近く完成させる予定。これにより、個人の情報をIJCAウェブサイト経由で発信することが可能になる。メーリングシステムの確立も望ましい。
- 上記はNJCAにも実施して欲しい。
- 各ビルダーの連絡先もイヤーズブックに掲載し、発行時にルールブックと共に数部を送付すべき。
- イヤーズブックの送付にかかる時間は各国により異なる。

[題目へ戻る](#)

4. 世界選手権・大陸選手権についての報告

(1) 2009年J/24北米選手権—Valle de Bravo／メキシコ

メキシコのJ Castilloが2009年のJ/24北米選手権開催地に立候補、反対意見無く公式に決定。

[題目へ戻る](#)

(2) 2010年J/24世界選手権

- スウェーデンのM Scholkeより、2010年のJ/24世界選手権開催地として、スウェーデンのMalmoが立候補。南スウェーデンは特にセーリングが盛んな

場所であり、2005年にはアメリカスカップも開催された。今のところロイヤル・デーニッシュYCも開催地になりたい意向を示している。レガッタ事務局は、この二つのうちどちらがより良いサポートやスポンサーを得られるかにより選出する。

- 上記をうけ、スウェーデンのMalmoあるいはデンマークのコペンハーゲンを2010年J/24世界選手権開催地に決定。

[題目へ戻る](#)

(2) 2011年J/24世界選手権

IJCAはこれまでのレガッタ開催地を顧み、2011年のJ/24世界選手権開催が南米で開催されることを希望。アルゼンチンのR Authierが同意。

[題目へ戻る](#)

(4) 2008年J/24世界選手権

イタリアJCAより、サルディニアで開催される2008年世界選手権の進行状況報告。

- タイトル・スポンサーのMoby Lineとの交渉が間もなく完了する。予算不足は全てArzecena自治体が補う。
- イタリア本土からのフェリー、ホテル、買い物等の割引手配も間もなく完了する。
- 大会への参加費はEURO400前後の予定。
- イタリアのJ/24所有者の協力によりチャーター艇が利用可能になる予定。
- Jボート・イタリアは、新艇チャーターの金額を設定する。その時点で各NJCAは国内にどれ程チャーター希望があるか調査すること。

[題目へ戻る](#)

5. その他

(1) 計測料金について

- 計測料金は国ごとに大きく異なる。無償で行う国もあれば、ビルダーとメジャーの所在地が離れているイタリアではEUR150となっている。
 - i.e アメリカ、オーストラリア、ハンガリー — 無料
 - カナダ — CAD100 + 人件費CAD40
 - イギリス — GBP20/時間 + 経費
 - アルゼンチン — USD30
- NJCAには可能な限り計測コストを削減して欲しい。
- Jポート・イタリアと協力し、工場内で計測が可能になるような工夫を。

[題目へ戻る](#)

(2) 将来の展望

- J/24の特長や魅力を広める為の明確な計画や戦略を立てるための少人数ブレインストーミングチームをボランティアで形成してはどうか。
(J Farmer、R van den Berg、J Castilloが立候補)
- 2008年はJ/24の30周年にあたり、デザイン一新の可能性もある。これを展開中のマーケティングプランに盛り込むべき。
- オーストラリアと日本で協力し、環太平洋圏を盛り上げて欲しい。

[題目へ戻る](#)

(3) アクションプランの更新

- 昨年考案されたアクションプランの効率は良好で、各アクションの完了や変更に伴い随時更新されている。これには長期戦略的計画を要する内容も含まれる。
- 現在進行中の主なアクションは、#11のユース世界選手権開催である。
Mauricio Santa Cruzは2009年のISAFユース世界選手権のブラジルでの開催とJ/24使用に向け取り組んでいる。
- オールド・ボート・トロフィーは2004年にJens Hookensonが獲得した以来誰も受賞していない。持ち回りのトロフィーの所在を追跡し、イヤーズブックにそのリストを掲載すべき。

[題目へ戻る](#)

(4) 次回World Council Meeting の開催日・開催地

2008年World Council Meetingは米国メインランド州アナポリスで10月に開催する予定。この時期にボートショーがあるため、正確な日にちは未定。

[題目へ戻る](#)